



2016年(平成28年) 4月14日 木曜日

きょうは何の日

オレンジデー、タイタニック号氷山に衝突、翌未明に沈没(1912年)



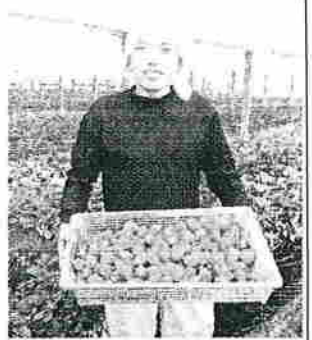
埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市北区吉野町2-282-3 本社代表 048-795-9930



埼玉縣信用金庫

5 連載「農業の挑戦者」

秩父市のイチゴ農園で働く宇津木俊昭さん。20代で農業に飛び込み、地域の人に支えられながらイチゴ栽培に取り組む。月1回紹介。農業の挑戦者たちにインタビューする。



11 本川越駅前に案内所

西武鉄道本川越駅の観光案内所が駅東側出入り口付近に改装オープンした。英語が話せるスタッフが常駐し一部はスペイン



# 生体異常センサーで察知

## 独居高齢者の安全確保

IoT(モノのインターネット)コンサルティングを手掛けるアクティブ・アイ(さいたま市中央区、飯島克昌社長)は、今春から体に触れずにバイタルサイン(生命兆候)を感知する「非接触バイタル感知センサー」の販売を始めた。マイクロ波で脈や呼吸の状態を常時検知し、異常を感じた際は親族らにメールで知らせる装置。高齢化の急伸に伴い独居老人の「孤独死」が社会問題化する中、お年寄りの安心・安全対策とともに一人暮らしの女性向けの防犯対策などにも役立ちそうだ。飯島社長は「安心・安全な社会づくりに貢献できれば」と話している。(三宅芳樹)

### さいたまの会社が発売

同センサーは、車のオービス(自動速度取締機)で課によると、県内の単身高齢者は2010年度の20万8千波を応用し、非接触で「脈拍」「体の動き」「呼吸」の状態をパソコンを通じて常時検知。例えば、一人暮らしの高齢者が常時使う部屋に設置すれば、高齢者が体調を崩した場合など生命反応に異常が生じると、センサーが察知し、すぐにメールを送信して親族らに伝える。文面や送信先などは自由に設定できる。

高齢化社会の進展に伴い、65歳以上の独居老人は



飯島社長は「独居老人の見守りサービスとしてマイクロ波センサーが普及すれば、本人も親族も安心して暮らすことができる。カメラが付いていないので、プライバシーを侵害することもない」と話す。同センサーは顧客の用途に「非接触バイタル感知センサー」(右)で検知したバイタル情報を確認するアクティブ・アイの飯島克昌社長(さいたま市中央区

## 自室設置、親族に即メール

応じて設定を変更できるため、幅広い分野で活用できる。防犯対策もその一つ。飯島社長は「一人暮らしの女性宅に設置すれば、不審者の侵入を察知できる。介護施設や動物病院では、より迅速な対応が可能となり、サービスの向上につながる」と話す。基本のセンサーは、電子部品の輸出入販売などを行う「ミオ・コーポレーション(相模原市)が開発、製造。アクティブ・アイは首都圏を中心に販売を手掛ける。今後はセンサー自体にパソコンの通信機能を内蔵させたり、電力自由化で普及が見込まれるスマートメーターの中にセンサーを設置するなどして、より安価で手軽に利用できるよう改良を進める。さらに親族らが異常時に一方的にメールを受けるだけでなく、見たい時にバイタルサインを確認できる双方向のサービスも視野に入れている。問い合わせは、同社(☎048-711-5763)へ。

# TPP見送り公算大

## 今国会参院選で批判懸念

政府、与党が今国会で環太平洋連携協定(TPP)の承認と関連法案の承認や成立を見送る公算が13日大きく高まった。審議する衆院TPP特別委員会(野党)意見が付立

した。政府筋も「何が何でも成立させるという状況ではない」と指摘した。ただ政権内には会期内成立を目指すべきだとの意見も残っている。自民、公明、民進3党の衆院特別委員会は中央公聴会、地方公聴会、参考人質疑の実施やテーマ別の集中審議の開

削減する。基本計画は循環を目指す。県内の13年

# 家庭

県は、廃棄物環境保全条例(8次)(2015年)を策定、20年度までの削減を盛り込んだ。1人1日当たりの排出量は13年



鮮やバザ 本庄、

Table with 2 columns: 相がTPP交渉に参加, 合意, した甘利明経済再閣僚を辞任, ランドで署名式, P承認案と関連法案が衆院で審議, 連法案が衆院で審議, 院TPP特別委員